

結婚支援の入口、出会いから結婚、定住までの推進



本市の人口減少と未婚率の上昇は、地域の持続可能性に直結する重要な課題である。特に、若年層の市外流出や出会いの機会の不足、結婚後の生活基盤形成への不安など、結婚に至るまでの過程には複合的な障壁が存在している。

そこで、結婚を望む方に対して、とちぎ結婚支援センター登録支援事業、婚活イベント開催事業及び結婚新生活支援事業などの事業について、効果的な周知や利用者層の拡大、事業間の連携強化などに注力するなど、結婚支援の入口、出会いから結婚、定住までの過程を一体的に支える総合的な結婚支援施策の充実を図り、若年層の定住促進と少子化対策の推進に努められたい。

児童生徒の健全育成に資する教育環境の整備



かえで義務教育学校及び城東中学校区の小中一貫校の整備においては、児童生徒の良好な教育環境を確保する観点から、適切なモニタリング体制を確立し、その着実な実施を図られたい。あわせて、義務教育学校のあり方については、児童生徒、保護者、地域住民等の意見を広く聴取し、安全・安心で快適な学校施設及び本市の実情に即した教育環境の整備に万全を期されたい。

また、学校部活動については、引き続き、「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」に基づき、地域への移行を推進するとともに、現場における諸課題を的確に把握し、指導者バンク等を活用した人材確保を図るなど、児童生徒の健全育成に資する持続可能な運営体制の構築に努められたい。

獣害に対する被害防止・安全対策の徹底



有害鳥獣による被害は、耕作放棄地や里山の荒廃といった地域環境の変化を背景としており、極めて深刻な状況となっている。近年、全国的にクマの出没が頻発する中、本市においても、クマによる人身被害が発生しているほか、イノシシやシカ等による農作物への被害も深刻化している。

こうした状況に鑑み、侵入防止柵の設置や捕獲をはじめとする被害防止対策を一層強化するとともに、学校においては、児童生徒の安全を確保するため、配布したクマよけ鈴や各学校に設置のクマ撃退スプレーについて、児童生徒及び教職員に対する使用方法等の徹底を図り、適切かつ有効に活用できるよう、安全対策の一層の充実にも努められたい。

道路冠水対策及び雨水排水対策の推進



気候変動の影響により、自然災害が激甚化・頻発化しており、道路冠水や法面崩落、河川の増水、氾濫などにより、市民生活を支える道路インフラへの被害が懸念されている。本市においても、近年の集中豪雨等により道路冠水の被害が生じていることから、災害発生時における迅速な道路復旧体制の確保を図るとともに、平時からの道路冠水対策を着実に進められたい。

特に、局地的な大雨による道路冠水の軽減に向け、浸水被害が発生しやすい箇所や排水機能が十分でない箇所を的確に把握し、側溝の新設、既設側溝の改修及び清掃等、地域の実情に応じた雨水排水対策を計画的に推進されたい。